

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社マイスター

寒河江市にある株式会社マイスターの若手社員、小田拓海さん取材しました！
小田さんは、会津大学コンピューター理工学部コンピューター理工学科を卒業後、
2017年に入社しました。現在は、開発技術部で勤務しています。
また、総務部の桑原周平さんにも同席していただきました。

(1) 仕事内容編

——最初に、株式会社マイスターがどのような製品を作っているかを教えてください。

(総務部桑原さん) マイスターは BtoB 企業となっていて、お客様企業からの「こういうものが欲しい」という受注に応じて製造しています。製造業と聞くと大量生産をイメージするかもしれませんが、マイスターでは多品種少量生産という形でお客様の要望に合うよう多種多様なものを製造しています。



消費者が触れるような具体的な商品ではなく、例えば、スマートフォンや車の部品を作るための道具や部品といったものですね。皆さんの生活の中で触れるものでは……切削工具——ドリルやエンドミルの刃物の製作や再研磨を行う一環で、スマートフォンフィルムの切り出しを行う“刃物”を作っていますね。医療機器に使われる刃物も作っています。取引させている企業も年間 400 社以上になりますね。

——小田さんは現在、どのようなお仕事をしていますか。



私は開発技術部に所属していますが、今は助っ人として P G (プロファイルグラインダー) 部門で特殊切削工具の加工をしています。モノに光を当てて 20~50 倍に拡大して、それを見ながら加工するもので、基本的に図面との誤差が 100 分の数ミリ以内を狙った精度の高い作業となります。難しいときには数ミクロン (1 ミクロン = 0.001mm) 単位を狙ったり……。

——数ミクロン単位、想像が出来ないレベルの細かさです。こうした仕事内容は決まったものではなく、日によって変わってくるのでしょうか？

そうですね、受注によって同じ製品を大量に作ることもありますが、基本的に色んなお客様の細かな要望に合わせた対応になります。時代劇に使うような草履から、航空機や医療器具に関するものまで幅広いですね。多品種少量生産で、リピート品だけでなく、その場限りの要望に応えることも多いです。

マイスターが所有している設備の汎用性や応用力は高いので、試作も行えます。社内の道具を内製することもありますね。



(2) 職場編

——マイスターに就職を決めたきっかけは何ですか。



大学を卒業するにあたり、親が製造業で働いていたことも影響し、漠然と同じ方向性での就職を考えました。複数の企業を訪問し工場を見学する中で、マイスターの工場内が他と比べ綺麗で、製造業にもこうした企業があるのだなと思いました（笑）。

また、話を聞いていくうちに、風土や空気感、面白い会社の考え方に惹かれ、自分に合っているなと感じました。高校までは地元山形に住んでいましたが、大学進学をきっかけに山形での人間関係が好きだと改めて感じ、Uターンしようと思いました。

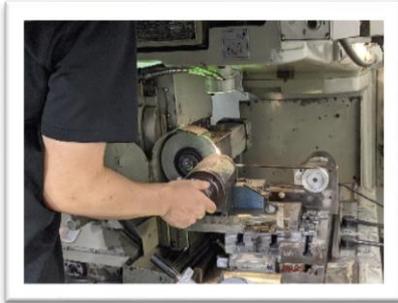
——小田さんは大学での専攻は情報系で現在の仕事と異なる分野だったようですが、加工の技術はやはり入社後に身につけられたのですか？

現場の技術や道具の名前も全くわからない状態で始まり、入社してから全て学びました。わからないことがあれば先輩や周りの人に何度も質問し、自分でわかる範囲を少しずつ広げていきました。図面の記号も当初は全く読めませんでした。現場での作業や先輩方への質問を通して理解していきました。今で



は図面を書いたり、人に教えたりもしますので、この点に関しては人よりわかるようにはなかったのかなど。何も知らないところから入社したことをアドバンテージとしてどんどん聞きに行き、知識を得ようと心がけました。

——0 からでも支えてくださる会社の雰囲気も素晴らしいですね。



そうですね、上司を始めとした自分より偉い人に対しても愚痴を言やすい距離感です(笑)。親しみやすい関係性があり、こうした雰囲気は他の企業ではなかなか無いのではないのでしょうか。また、全く異なる学部学科出身者でも、工業高校出身の方たちのような工業分野を学んできた人たちに混ざって、0 から現場で学びながら仕事をしていますね。

——マイスターで働くにあたり、やっておいた方がよい勉強や取っておくべき資格はありますか？

取っておくべきことは……一般常識を身につけることですかね(笑)。仕事の中では人同士のやり取りであるため、自分の考えを伝えたり、相手の意思を受け取ったりといったコミュニケーションはやはり必要ですね。

技能検定の資格等は製造現場で使用する機械で練習しないとできないものなので入社前に取得するべきものは特にはないかと思います。会社による検定費用の補助もありますし、働き始めてから勉強しても十分間に合います。



(総務部桑原さん)お客様に対してしっかりした技術を持っていることを証明するためにも、各種技能検定の取得を会社の方では奨励しています。入社3年目以降を目安に、加工に関する国家資格の2級以上を取得する社員が多いですね。

——女性でも働きやすい職場ですか。

(総務部桑原さん)女性でも技能検定に通っています。中には1級を取得した方もいます。性別には関係なく活躍できる仕事です。

(3) ある日の過ごし方編

●7:45【出社】

機械の立ち上げや暖機運転を行い、精度に影響がないか確かめます。また、Google カレンダーで部署のメンバーの予定を、Slack で自分のその日の業務の予定を確認します。



●8:10【朝礼】

まずラジオ体操を行います。その後、部署朝礼を行い、各自の今日の予定を共有・確認します。

●8:15【業務開始】

現場に入って加工作業を行います。加工する製品は前日やその日の朝に決めます。作業スケジュールは毎日固定ではなく、受注に応じて流動的です。



●11:45【昼休憩】

社内の食堂にて昼食をとっています。

●12:30【午後業務開始】

午前に引き続き作業を行います。



●17:20【退勤】

仕事が忙しい場合には延長することもあります。

(4) むらやまでの暮らし編

——首都圏などの他地域と比較したむらやまで就職する良さやメリットは何だと思えますか？

私の場合、地元の温かみがある点や、知っている地域なので人間関係が築きやすい点がメリットですかね。あとは自然の多さに気持ちになります。マイスターには住宅手当の支援もあって、家賃という点でも……（笑）。それから、趣味がラーメン屋巡りや映画鑑賞なんですけど、村山地方には映画館や沢山のラーメン屋があることが良いですね（笑）。

——寒河江でおすすめのラーメン屋さんはどこですか？

“麺屋でん”さんの本気（マジ）そばというまぜそば（白い器の写真）がおすすめです。あとは、“味来道”さんのまぜそば（黒い器の写真）も美味しいですね。ラーメンというかまぜそばばかりですね（笑）。ラーメンだったら、“一本道”のとんこつラーメン（赤い器の写真）がおすすめです。



——村山地域でお気に入りの場所や食べ物はありますか。

場所というよりは景色です。ラーメンを食べに東根市へ行くとき、緑いっぱいの景色を眺めるのが好きですね。滝を見るのも好きです。



（総務部桑原さん）ラーメン以外だったら？

実家に帰るときに、さくらんぼをアグリランド産直センターで買って帰りますね。

——仕事が終わって帰宅した後やお休みの日などは、どんな風に過ごしていますか。



アニメや映画を家で見て過ごしています。毎週木曜日は 19 時から 21 時までバドミントンもしています。社長がアクティブな人で、コロナ禍前は不定期で時間ある人を集めてボウリングをしに行きましたね。バドミントンを始めたのも、以前社長に飲み会の席で相談した際に紹介してもらったことがきっかけです。

(5) まとめ編

——仕事をしていく中で、今後の目標はありますか。

今は現場で助っ人として入っていますが、本来は図面作成が主な業務です。なので、現場での加工者としての経験を活かし、今後は本来の開発技術の部署で効率的な作業のための現場の改善活動を行っていきたいと思っています！



——学生や今後就職活動をする人たちへ向けて、経験しておいた方がよいことなど何かメッセージはありますか？

終身雇用的な考え方が廃れつつありますが、働きながらの転職活動は大変です。大学生は自由な時間があるため、就職活動への時間を上手く作り、自分が勤めたい、納得出来る企業を後悔のないよう探すべきかと思います。コロナ禍で企業訪問ができない場合もありますが、少ない機会でも細かい部分まで見て、会社の雰囲気や現場の様子を把握してほしいですね。企業に直接話を聞ける機会は基本的に学生時代しかないのです、その身分をフル活用して企業研究を進めていくと自分の入りたい企業を見つけることができるのではないかなと思います。



——最後に、総務部の桑原さんにもお伺いします。女性が働きやすいような支援がありましたら教えてください。

例えば出産後に職場復帰する場合には、家庭生活との両立やブランクを考慮して、お子さんの年齢に合わせて時短勤務ができるようになっています。また、産業カウンセラーが2名常駐しておりまして、職場復帰前後に復帰希望のヒアリングや、カウンセリングなどを行っています。中小企業ゆえに1人1人が大事な戦力となってくるので、元の職場に復帰してもらえるようにフォローは出来るようにしています。

———ありがとうございました！

小田さんの話にもあったように、マイスターさんは現場をはじめとした施設内全体が非常に綺麗で、工業系によくあるイメージを払拭する清潔感でした！食堂やレクリエーションスペースもあり、コロナ禍以前はテラスや広々とした共有スペースでバーベキューも行われていたなど、社員の方々の雰囲気も含めとても素敵な職場環境に感じました。どのような受注にも対応する精神は勿論、女性や未経験者でも活躍できる支援制度が充実している点からも非常に素敵な会社という印象を受けました。

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 金 東均・芳賀 愛衣】

株式会社マイスター

【幅広い業種の共演者として】

当社は草履からジェット機まで幅広い業種のものづくりに欠かせない道具をつくる BtoB 企業です。多くのお客様（主演者）を支える共演者として日々取り組んでいます。

☆経済産業省「地域未来牽引企業」、健康優良企業「ブライト 500」など受賞

- ・所在地 山形県寒河江市中央工業団地 156-1
- ・設立 昭和 55 年 7 月
- ・従業員数 80 名（男性 58 名、女性 22 名）
- ・URL <http://ymeister.co.jp>

